履歴書

2025 年 5 月 1 日

氏名: 柴本昌彦 (しばもとまさひこ)

所属・職名: 神戸大学　経済経営研究所　教授

学歴

平成 15 年 3 月　大阪大学経済学部経済経営学科卒業

平成 15 年 4 月　大阪大学大学院経済学研究科政策ビジネス専攻修士課程入学

平成 17 年 3 月　大阪大学大学院経済学研究科政策ビジネス専攻修士課程修了

平成 17 年 4 月　大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程入学

平成 19 年 9 月　大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程修了

学位

博士 (経済学)　大阪大学

職歴・研究歴

平成 19 年 4 月〜平成 19 年 6 月　日本学術振興会　特別研究員　(DC2)

平成 19 年 7 月〜平成 26 年 3 月　神戸大学　経済経営研究所　講師

平成 22 年 7 月〜平成 24 年 6 月　アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校　客員研究員

平成 26 年 4 月〜令和 4 年 8 月　神戸大学　経済経営研究所　准教授

平成 29 年 3 月〜平成 29 年 9 月　アメリカ・ウイリアムスカレッジ　客員研究員

令和 4 年 9 月 〜現在　神戸大学　経済経営研究所　教授

令和 6 年 4 月 〜現在 神戸大学計算社会科学研究センター 副センター長

主な研究テーマ

マクロ実証分析, 金融政策, 計量経済学, 時系列分析

外部資金獲得

研究代表者

1. 科学研究費助成金：基盤研究（C）「慢性的な低インフレ下におけるマクロ経済と金融政策に関するマクロ実証分析」(No.21K01579）2021〜2025 年度

2. 科学研究費助成金：基盤研究（C）「実証分析による金融市場・実体経済における金融政策の役割の再検討」(No. 17K03804) 2017〜2022 年度

3. 公益財団法人野村財団　国際交流助成「「長期停滞論」に関する実証的検討:国際データを用いたマクロ時系列分析」 2016 年度

4. 科学研究費助成金：若手研究（B）「低金利下における日本の金融政策に関する実証分析：資産価格を通じた波及効果の検証」(No. 25780204) 2013〜2016 年度

5. 公益財団法人石井記念証券研究振興財団　研究助成金「低金利下における中央銀行の情報発信が証券金融市場に与える影響」 2012 年度

6. 科学研究費助成金：若手研究（B）「金融政策が物価に及ぼす影響：日本の品目別消費者物価及び企業物価を用いた実証分析」(No. 20730209) 2008〜2011 年度

7. 全国銀行学術振興財団「金融政策が株式市場に及ぼす影響：日本の個別企業株価データを用いた実証分析」2008〜2009 年度 (研究分担者: 立花実)

8. 科学研究費助成金：特別研究員奨励費「計量経済学及び時系列分析を用いた金融政策に関する実証分析及びモデルの整合性の検証」(No. 19·59) 2007 年度

研究分担者

1. 信金中央金庫 「中小企業における脱炭素経営にかかる取組み」2023.8 月〜2025 年 2 月　(研究代表者: 家森信善)

2. 科学研究費助成金：基盤研究（S）「包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：金融危機から国際関係・災害リスクまで」(No.20H05633) 2020〜2025 年度　(研究代表者: 上東貴志)

3. 国立研究開発法人科学技術振興機構 未来社会創造事業 探索加速型「超スマート社会の実現」領域「社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発」2020〜2022 年度 (研究代表者:上東貴志)

4. 科学研究費助成金：基盤研究（S）「包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：理論・実証・シミュレーション」(No.15H05729) 2015〜2019 年度　(研究代表者: 上東貴志)

5. 科学研究費助成金：基盤研究（B）「江戸幕府の金融政策–歴史資料と時系列データに基づく理論的・実証的分析–」(No. 25285100) 2013〜2017 年度　(研究代表者: 高橋亘)

6. 科学研究費助成金：基盤研究（A）「デフレ・円高・財政危機・バブル経済の後遺症に関する包括的理論・実証分析と政策対応」(No. 24243044) 2012〜2014 年度　(研究代表者: 上東貴志)

7. 全国銀行学術振興財団「量的緩和政策の検証：イベント・スタディーと時系列分析を組み合わせたアプローチ」2011 年度　(研究代表者: 立花実)

8. 科学研究費助成金：基盤研究（B）「グローバル・インバランスは政策的に制御可能か」(No. 23330106) 2011〜2013 年度　(研究代表者: 藤田誠一)

9. 科学研究費助成金：基盤研究（A）「グローバル経済におけるバブルと金融危機に関する研究：理論と実証」(No. 21243027) 2009〜2011 年度　(研究代表者: 上東貴志)

受賞歴

- 神戸大学経済経営研究所　平成 18 年度兼松フェローシップ入賞　平成 19 年 5 月

研究活動

論文 (査読付きには ★)

★ "An Analysis of Monetary Policy Shocks in Japan: a Factor Augmented Vector Autoregressive Approach", *Japanese Economic Review.* Vol. 58, No. 4, December 2007, pp. 484-503.

★ "The Estimation of Monetary Policy Reaction Function in a Data-Rich Environment: the Case of Japan", *Japan and the World Economy.* Vol. 20, No. 4, December 2008, pp. 497-520.

- 「品目別物価指数の特性と相対価格への波及効果：近年の研究動向及び日本のデータを用いた実証研究」, 国民経済雑誌, 第 200 巻第 4 号, 2009 年 10 月.

- 「日本の非伝統的金融政策ショックの識別と長短金利差への影響」, 国民経済雑誌, 第 205 巻第 2 号, 2012 年 2 月

★ "Structural Change in Current Account and Real Exchange Rate Dynamics: Evidence from the G7 Countries" (joint with Shigeto Kitano), *Pacific Economic Review.* Vol. 15, No. 5, December 2012, pp. 619-634.

- 「金融政策の実証分析に関する覚書」, 国民経済雑誌, 第 206 巻第 6 号, 2012 年 12 月

★ "Note on the Interpretation of Convergence Speed in the Dynamic Panel Model" (joint with Yoshiro Tsutsui), *Applied Economics Letters*, Volume 21, No. 8, June 2014, pp. 533-535.

★ "Exchange Rate Adjustment, Monetary Policy and Fiscal Stimulus in Japan's Escape from the Great Depression" (joint with Masato Shizume), *Explorations in Economic History*, Volume 53, No. 1, July 2014, pp. 1-18.

★ "Individual Stock Returns and Monetary Policy: Evidence from Japanese Data" (joint with Minoru Tachibana), *Japanese Economic Review*, Volume 65, No. 3, September 2014, pp. 375-396.

★ "Understanding Regional Growth Dynamics in JAPAN: Panel Cointegration Approach Utilizing The PANIC Method" (joint with Yoshiro Tsutsui and Chisako Yamane), *Journal of the Japanese and International Economies*, Volume 40, June 2016, pp. 17-30.

- 「弱識別に頑健な統計量を用いた日本における消費資産価格モデルの再検討」, 国民経済雑誌, 第 214 巻第 3 号, 2016 年 9 月.

★ "Source of Underestimation of the Monetary Policy Effect: Re-examination of the Policy Effectiveness in Japan's 1990s", *The Manchester School*, Volume 84, No. 6, December 2016, pp. 795-810.

★ "Cross-Country Evidence on Determinants of Fiscal Policy Effectiveness: The Role of Trade and Capital Flows" (with Agata Wierzbowska), *Applied Economics*, Volume 50, Issue 32, 2018, pp. 3493-3514.

★ "Construction and Application of Sentiment Lexicons in Finance" (joint with Kazuhiro Seki), *International Journal of Multimedia Data Engineering and Management*, Volume 9, No. 1, 2018, pp. 22-35.

- 「日本の新型コロナウィルス感染症拡大の現状と感染リスク」, 国民経済雑誌, 第 222 巻第 5 号, 2020 年 11 月.

★ " Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment"(with Wataru Takahashi and Takashi Kamihigashi), *Journal of Computational Social Science*, April 2021.

- 「コロナ禍における中小企業の資金繰りと金融機関の役割」,『しんくみ』, 第 68 巻第 9 号 6-13 頁 , 2021 年 9 月.

★ "COVID-19 Infection Spread and Human Mobility" (with Shoka Hayaki and Yoshitaka Ogisu), *Journal of the Japanese and International Economies*, June 2022.

- "日本のトレンドインフレの計測：共和分アプローチ" 国民経済雑誌　第 227 巻第 5 号 123-137 頁, 2023 年 9 月.

★ "Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment"(with Wataru Takahashi and Takashi Kamihigashi), *Journal of Computational Social Science* , Volume 6 Issue 2, 1215-1254, October 2023.

★ "Identifying Quantitative and Qualitative Monetary Policy Shocks"(with Kiyotaka Nakashima and Koji Takahashi), *International Journal of Central Banking* , Volume 20 Number 3, 1-61, July 2024.

分担執筆

- 「為替レートと経常収支: 調整メカニズムの構造変化」(北野重人氏との共著), 藤田誠一・岩壺健太郎編『グローバル・インバランスの経済分析』　有斐閣　第 4 章　2010 年 10 月.
- 「先進国金融政策の国際的波及–国際資金フローに対するグローバル・スピルオーバー効果–」, 藤田誠一・松林洋一・北野重人編『グローバル・マネーフローの実証分析』　ミネルヴァ書房　第 6 章　2014 年 4 月.
- 「米切手取引市場」(高槻泰郎氏との共著), 深尾京司・中村尚史・中林真幸編『岩波講座 日本経済の歴史 2 近世』　岩波書店　第 2 章第 3 節　pp. 130-143　2017 年 8 月.
- "Measuring Social Change Using Text Data: A Simple Distributional Approach" (joint with Takashi Kamihigashi and Kazuhiro Seki), in *Reconstruction of the Public Sphere in the Socially Mediated Age*, ed. by Endo, K., Kurihara, S., Kamihigashi, T., and Toriumi, F., Springer, pp. 139-164, November 2017.
- 「ETF・REIT 購入は有効　先行きの指針 意図の明示を」, 日本経済新聞社編『黒田日銀　超緩和の経済分析』　日本経済新聞出版社　第 6 章　2018 年 10 月.
- 「兵庫県と全国の事業継承：２つのアンケート調査をもとにして」（海野晋悟氏との共著）, 家森信善編著『地域金融機関による事業承継支援と信用保証制度』　中央経済社　第 15 章　pp. 212-224　2020 年 7 月.
- 「近世日本の中央市場と気候変動」（高槻泰郎氏・村和明氏との共著）, 中塚武監修　鎌谷かおる・渡辺浩一編『気候変動から読みなおす日本史第 5 巻 気候変動から近世をみなおす -数量・システム・技術』 臨川書店　第 5 章　pp. 125-151 2020 年 11 月.
- 「コロナ禍における中小企業の資金繰りと政策対応」（海野晋悟氏との共著）, 『マイナス金利環境の下での地域金融機関の経営の現状と課題』研究会報告書（2020 年度）出版者・発行元一般社団法人 アジア太平洋研究所　pp. 33-64　2021 年 3 月.
- 「中小企業の SDGs への取組みの現状と課題」「関西における地域金融面からの事業支援の課題 - ポストコロナを見据えた地域金融のあり方 - 」研究会報告書 (2021 年度）, 出版者・発行元一般社団法人 アジア太平洋研究所　第 1 章　pp. 13-31　2022 年 3 月.
- 「中小企業のサステナビリティ経営の状況：大同生命サーベイの結果から」（家森信善、西谷公孝と共著）, 家森信善・山本聡編著『SDGs の時代に中小企業が輝く社会の実現を目指して　日本の中小企業のサステビリティ経営の実践とドイツ中小企業からの学び』中央経済社　第 I 部第 1 章　pp.2-41 2024 年 4 月.
- 「サステナビリティ経営のベストプラクティス」（家森信善、西谷公孝と共著）, 家森信善・山本聡編著『SDGs の時代に中小企業が輝く社会の実現を目指して　日本の中小企業のサステビリティ経営の実践とドイツ中小企業からの学び』中央経済社　第 I 部第 2 章　pp.42-68　2024 年 4 月.

- 「サステナビリティ経営の実践に向けた示唆」（家森信善、西谷公孝と共著）, 家森信善・山本聡編著『SDGs の時代に中小企業が輝く社会の実現を目指して　日本の中小企業のサステビリティ経営の実践とドイツ中小企業からの学び』中央経済社　第 I 部第 3 章　pp.69-75　2024 年 4 月.

博士論文

Empirical Studies on Japanese Monetary and Fiscal Policy, Osaka University, 2007.

その他

- 「日銀新体制の課題（下） ETF・REIT 購入有効　先行きの指針意図明示を」,『経済教室』, 日本経済新聞, 2018 年 3 月 15 日.
- 「政策金利とフォワードガイダンスの効果」,『経済セミナー』　日本評論社　No.705, pp. 31-37, 2018 年 12 月・2019 年 1 月号.
- 「＜巻頭言＞『大同生命サーベイ 2020 年度年間レポート』発刊に寄せて」, (海野晋悟と共著）中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2020 年度　年間レポート～コロナ禍を乗り越える中小企業の姿が明らかに～　2 頁　大同生命保険株式会社 , 2021 年 5 月 18 日.
- 「金融緩和の功罪（下）インフレ期待の持続課題」,『経済教室』, 日本経済新聞, 2021 年 9 月 14 日.
- 「＜巻頭言＞『大同生命サーベイ 2021 年度年間レポート』発刊に寄せて」, 海野晋悟と共著）『中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2021 年度　年間レポート～長引くコロナ禍の影響と新しい時代への対応～』2 頁　大同生命保険株式会社 , 2022 年 7 月 20 日.
- 「中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2022 年 9 月度調査レポート～「サステナビリティ経営」に取り組む企業の 9 割が効果・メリットを実感～」11 頁　大同生命保険株式会社 , 2022 年 10 月 26 日.
- 「時系列分析（応用編) 」『経済学の歩き方（2023 年度版)』147-153 頁　神戸大学経済経営学会 , 2023 年 3 月 31 日.
- 「類まれなる研究環境である神戸大学」,『凌霜』第 439 号　35-36 頁 , 2023 年 10 月 10 日.
- 「中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2023 年 10 月度調査レポート～「サステナビリティ経営」の認知度が大きく高まり、47 %に！～」14 頁　大同生命保険株式会社 , 2023 年 11 月月 27 日.
- 「インフレ転換期の今だからこそ提言したい『2 つ』のこと」中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2023 年 12 月度調査レポート～中小企業の課題解決は進展するも道半ば～　2 頁　大同生命保険株式会社 , 2024 年 1 月 29 日.

- 『中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2024 年 6 月度調査レポート』2 頁　大同生命保険株式会社, 2024 年 7 月 25 日.
- 「金融正常化の評価と課題（下）日銀、国民・市場と意思疎通を」, 『経済教室』, 日本経済新聞,2024 年 8 月 22 日.
- 「『サステナビリティ経営』を実践するために」『中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2024 年 10 月度調査レポート』2 頁　大同生命保険株式会社, 2024 年 11 月.
- 「インフレ環境下の中小企業：現状と課題」『中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2024 年 12 月度調査レポート』2 頁　大同生命保険株式会社, 2025 年 1 月.
- 「今が環境問題に対して本気で取組む時である」信金中金月報第 24 巻 第 2 号（通巻 628 号）74 頁 , 信金中央金庫, 2025 年 2 月.

ワーキングペーパー

1. “Efficacy of Fiscal Policy in Japan: Keynesian and Non-Keynesian Effects on Aggregate Demand” (joint with Yusuke Kinari), RIEB Discussion Paper Series No.212, Kobe University, December 2007.
2. “Understanding Output and Price Dynamics in Japan: Why Have Japan’s Price Movements Been Relatively Stable Since the 1990s?” (joint with Ryuzo Miyao), RIEB Discussion Paper Series No.219, Kobe University, March 2008.
3. 「日本の経常収支と金融政策：為替パス・スルー低下の影響について」（北野重人氏との共著）, 神戸大学経済経営研究所ディスカッションペーパー, No.J100, 2008 年 12 月.
4. “The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock”, RIEB Discussion Paper Series No. 235, Kobe University, January 2009.
5. “The Effect of Unconventional Monetary Policy on the Macro Economy: Evidence from Japan’s Quantitative Easing Policy Period” (joint with Minoru Tachibana), RIEB Discussion Paper Series No. DP2013-12, Kobe University, April 2013.
6. “Macroeconomic Policy with Financial Market Stability: A Case Study of the Early 19th Century in Japan” (joint with Yasuo TAKATSUKI), RIEB Discussion Paper Series No. DP2014-16, Kobe University, March 2014.
7. “Empirical Assessment of the Impact of Monetary Policy Communication on the Financial Market”, RIEB Discussion Paper Series No. DP2016-19, Kobe University, April 2016.
8. “Risk-Taking Channel of Unconventional Monetary Policies in Bank Lending” (joint with Kiyotaka Nakashima and Koji Takahashi), RIEB Discussion Paper Series No. DP2017-24, Kobe University, September 2017.

9. “Environmental Awareness and Green Business Practices in the Small Business Sector: Empirical Evidence Using a Small and Medium-sized Enterprises Survey in-Japan, RIEB Discussion Paper Series No.DP2022-08, Kobe University, March 2022.

10. “Climate Changes and the Market Economy: The Case of Early Modern Japan”,(joint with Yasuo Takatsuki), RIEB Discussion Paper Series No.DP2022-11, Kobe University, March 2022.

11. “Central Bank Economic Confidence and the Macroeconomy”(joint with Kazuhiro Seki and Takashi Kamihigashi), RIEB Discussion Paper Series No.DP2022-16, Kobe University, March 2022.

12. “Cyclical Activity and Inflation under Secular Stagnation: Empirical Evidence Using Data on Japan’s Lost Decades”RIEB Discussion Paper Series No.DP2022-32, Kobe University, July 2022.

13. “Inflation, Business Cycle, and Monetary Policy: The Role of Inflationary Pressure”RIEB Discussion Paper Series No.DP2023-04, Kobe University, March 2023.

14. “Measuring Trend Inflation Using Financial Condition: The Case of Japan”RIEB Discussion Paper Series No.DP2024-11, Kobe University, March 2024.

15. “Identification of Relationship Lending in Bank-Borrower Networks”(with Yoshitaka Ogisu and Shoka Hayaki), RIEB Discussion Paper Series No.DP2025-02, Kobe University, February 2025.

現在進行中の研究

1. “Communication with the Market for Macroeconomic Policy: Empirical Assessment using Data in Early Modern Japan” (joint with Yasuo Takatsuki), 2016

2. “Market-Perceived Monetary Policy Surprises”, 2017

3. “What’s So Surprising? Macro News, Policy Expectations and Asset Prices” (joint with Kenneth N. Kuttner), 2017

4. “The Benefit of Financial Innovation: Historical Evidence from Rice Exchange Market in Early Modern Japan” (joint with Yasuo Takatsuki). 2017

5. “Inflation Shocks, Expectations and Monetary Policy” (joint with Kenneth N. Kuttner), 2017

6. “Cyclical Economic Activity and Inflation under Secular Stagnation: Evidence from Japan’s Lost Decades”, 2022

7. “Inflationary Pressure, Business Cycle, and Financial Market during the LongtermStagnation in Japan”, 2022

8. “Measuring Equity Risk Premium in Japan”, (joint with Shoka Hayaki) 2022

学会報告活動

セミナー・コンファレンス報告

1. “The Estimation of Monetary Policy Reaction Function in a Data-rich Environment: the Case of Japan”, マクロ経済学研究会 (COE 行動経済学研究会共催), 大阪大学, 2006 年 6 月 23 日

2. “The Estimation of Monetary Policy Reaction Function in a Data-Rich Environment: the Case of Japan”, 理論・計量経済学セミナー, 大阪府立大学, 2006 年 10 月 5 日

3. “The Estimation of Monetary Policy Reaction Function in a Data-Rich Environment: the Case of Japan”, RIEB セミナー, 2006 年 10 月 11 日, 神戸大学

4. “The Estimation of Monetary Policy Reaction Function in a Data-Rich Environment: the Case of Japan”, 日本経済学会 2006 年秋季大会, 大阪市立大学, 2006 年 10 月 21 日

5. “Efficacy of Fiscal Policy in Japan: Evidence of Keynesian and Non-Keynesian Effects on Aggregate Demand”, 応用計量経済学コンファレンス, 大阪大学, 2007 年 2 月 20 日.

6. “Efficacy of Fiscal Policy in Japan: Evidence of Keynesian and Non-Keynesian Effects on Aggregate Demand”, 兼松フェローシップセミナー, 神戸大学, 2007 年 5 月 31 日

7. “Testing for Convergence Hypotheses in Japan: A Nonstationary Panel Approach”, Monetary Economics Workshop, 大阪大学, 2007 年 6 月 23 日.

8. “Efficacy of Fiscal Policy in Japan: Evidence of Keynesian and Non-Keynesian Effects on Aggregate Demand”, 日本金融学会 2007 年秋季大会, 同志社大学, 2007 年 9 月 8 日.

9. “The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock”, 六甲フォーラム, 神戸大学, 2008 年 5 月 13 日.

10. “Understanding Output and Price Dynamics in Japan: Why Have Japan’s Price Movements Been Relatively Stable Since the 1990s?”, Modern Monetary Economics Summer Institute, 神戸大学, 2008 年 9 月 3 日.

11. “The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock”, Monetary Economics Workshop, 大阪大学, 2008 年 9 月 27 日.

12. “Understanding Output and Price Dynamics in Japan: Why Have Japan’s Price Movements Been Relatively Stable Since the 1990s?”, 金融研究会／マクロ・金融ワークショップ (共催)「合同研究会」, 一橋大学, 2008 年 11 月 27 日.

13. “Understanding Regional Growth Dynamics in Japan: Nonstationary Panel Data Approach”, マクロ・金融カンファレンス, 宮崎産業経営大学, 2009 年 3 月 3 日.

14. “The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock”, 日本銀行金融研究所セミナー, 日本銀行金融研究所, 2009 年 3 月 10 日.

15. “The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock”, 日本金融学会 2009 年度春季大会, 東京大学, 2009 年 5 月 16 日.

16. “Understanding Regional Growth Dynamics in Japan: Panel Cointegration Approach Utilizing the PANIC Method”, 第 3 回地域金融コンファランス, 大阪大学, 2009 年 8 月 27 日.

17. “Understanding Regional Growth Dynamics in Japan: Panel Cointegration Approach Utilizing the PANIC Method”, 日本経済学会 2009 年度秋季大会, 専修大学, 2009 年 10 月 11 日.

18. “Individual Stock Returns and Monetary Policy: Evidence from Japanese Data”, 日本金融学会 2009 年度秋季大会, 香川大学, 2009 年 11 月 7 日.

19. 「両大戦間期日本のマクロ経済政策の効果について：インフレ予想を含む VAR による推計」, 日本銀行金融研究所セミナー, 日本銀行金融研究所, 2010 年 6 月 25 日.

20. “The Effects of Quantitative Easing Policy in Japan: The Role of Stock Price”, 六甲フォーラム, 神戸大学, 2011 年 6 月 7 日.

21. “How Did Takahashi Korekiyo Rescue Japan from the Great Depression?”, Economic History Association 71st Annual Meeting, Boston, Massachusetts, September 10, 2011.

22. “The Impact of the BOJ Monetary Policy Decisions and Communication on the Financial Market”, マクロ・金融ワークショップ, 一橋大学, 2012 年 7 月 17 日.

23. “The Impact of the BOJ Monetary Policy Decisions and Communication on the Financial Market”, Monetary Economics Workshop, 大阪大学, 2012 年 7 月 28 日.

24. “The Impact of the BOJ Monetary Policy Communication on Financial Markets”, Modern Monetary Economics Summer Institute, 神戸大学, 2012 年 9 月 6 日.

25. “The Impacts of Monetary Policy Decisions and Communication on Financial Markets in a Low Interest Rate Environment: Evidence from Japan”, Macroeconomics Workshop, University of Tokyo, October 25, 2012.

26. 「マクロ実証分析における一般化モーメント法（GMM）の活用」, 神戸大学金融研究会, 神戸大学, 2012 年 12 月 11 日.

27. 「マクロ時系列分析–金融政策に関する実証研究の紹介–」, 神戸大学金融研究会, 神戸大学, 2012 年 12 月 18 日.

28. 「非伝統的金融政策に関する実証研究と論点整理」, 神戸大学金融研究会, 神戸大学, 2013 年 4 月 20 日.

29. “The Impacts of Monetary Policy Decisions and Communication on Financial Markets in a Low Interest Rate Environment”, The 1st Hangyang-Kobe-Nanyang Conference in Economics, Hanyang University, Seoul, June 14, 2013.

30. “The Impacts of Monetary Policy Decisions and Communication on Financial Markets in a Low Interest Rate Environment”, Asia-Pacific Economic Association 9th Annual Conference, Osaka University, July 28, 2013.

31. 「金融仲介機関は取引企業の倒産リスクにどう影響を及ぼすか？」, 第 7 回地域金融コンファランス, 神戸大学, 2013 年 9 月 3 日.

32. “An Empirical Assessment of the Impact of Monetary Policy Communication on Financial Markets”, RIEB Conference on Economic Analysis and the Chinese Economy: In Celebration of the Agreement on Academic Exchange between the School of Economics, Kobe University, October 25, 2013.

33. “Macroeconomic Policy with Financial Market Stability: A Case Study of the Early 19th Century in Japan”, 神戸大学金融研究会, 神戸大学, 2014 年 2 月 1 日.

34. “How Did Takahashi Korekiyo Rescue Japan from the Great Depression?”, 神戸大学金融研究会, 神戸大学, 2014 年 2 月 1 日.

35. “Macroeconomic Policy with Financial Market Stability: The Case of Japan’s Early 19th Century”, TEA 会（2014 年度春期研究会）, 神戸大学農学研究科, 2014 年 3 月 28 日.

36. “Macroeconomic Policy with Financial Market Stability: The Case of Japan’s Early 19th Century”(joint with Yasuo Takatsuki), The Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organizations, 大阪大学, 2014 年 5 月 9 日.

37. “How Did Takahashi Korekiyo Rescue Japan from the Great Depression?”, 日本金融学会 2014 年度春季大会, 慶應義塾大学, 2014 年 5 月 24 日.

38. “How Did Takahashi Korekiyo Rescue Japan from the Great Depression?”, 日本経済学会 2014 年度春季大会, 同志社大学, 2014 年 6 月 14 日.

39. “Macroeconomic Policy with Financial Market Stability: The Case of Japan’s Early 19th Century”, 日本経済学会 2014 年度春季大会, 同志社大学, 2014 年 6 月 14 日.

40. “Cross-Country Evidence on Determinants of Fiscal Policy Effectiveness - The Role of Capital Flows and Country’s International Trade and Financial Position”, 第 11 回 Modern Monetary Economics Summer Institute（RIEB セミナー共催）, 神戸大学, 2014 年 9 月 4 日.

41. “Accounting for Unemployment and Inflation Dynamics Using Time Varying NAIRU Concept ”, 神戸大学金融研究会（六甲フォーラム ／ 科学研究費補助金（基盤研究（A））「デフレ・円高・財政危機：バブル経済の後遺症に関する包括的理論・実証分析と政策対応」／「DSGE の集い」共催）, 神戸大学, 2014 年 10 月 24 日.

42. “Decomposing the Effect of Monetary Policy in a Low Interest Rate Environment”, IISS ワークショップ／ RIEB 政策研究ワークショップ「マクロ財政・金融政策効果の実証的評価」（神戸大学社会科学系教育研究府／神戸大学経済経営研究所主催、科研基盤研究（A）「デフレ・円高・財政危機：バブル経済の後遺症に関する包括的理論・実証分析と政策対応」／神戸大学金融研究会／ RIEB セミナー共催）, 神戸大学, 2014 年 10 月 25 日.

43. “Empirical Assessment of the Impact of Monetary Policy Communication on Financial Market”, Western Economic Association International 11th International Conference, The Museum of New Zealand Te Papa Tongarewa, January 11, 2015.

44. “Communication with Market Participants for Macroeconomic Policy: Empirical Assessment using Data in Early Modern Japan”, 金融研究所セミナー, 日本銀行, 2015 年 1 月 26 日.

45. “Measuring the Effect of Monetary Policy from Financial Market Reaction”, 経済学部研究会, 札幌学院大学, 2015 年 2 月 4 日.

46. “Market-Perceived Monetary Policy Surprise”, Monetary Economic Workshop, 神戸大学, 2015 年 2 月 21 日.

47. “Japanese Monetary Policy Tackling the Financial Crisis”, RIEB セミナー（金融システム研究部会共催）, 神戸大学, 2015 年 4 月 16 日.

48. “Market-Perceived Monetary Policy Surprises and the Expectation Channel”, マクロ・金融ワークショップ, 高知大学, 2015 年 9 月 19 日.

49. “Empirical Assessment of the Impact of Monetary Policy Communication on Financial Market”, 2015 Kobe-Peking Joint Conference on Economics, Peking University, December 4, 2015.

50. “Empirical Assessment of the Impact of Monetary Policy Communication on Financial Market”, 神戸大学金融研究会, 神戸大学, 2015 年 12 月 9 日.

51. “Identifying Unconventional Monetary Policy Shocks”, 日本経済学会 2016 年度秋季大会, 早稲田大学, 2016 年 9 月 10 日.

52. “Monetary Policy under a Low Interest Rate: Japan’s Experience”, Financial and real interdependencies volatility, inequalities and economic policies, Marseille, November 22, 2016.

53. 「江戸時代経済に関するマクロ時系列分析」, RoMacS Workshop 2016『家計の子ども数選択と経済の出生率決定に関する研究』, 広島大学, 2016 年 12 月 2 日.

54. “Identifying Unconventional Monetary Policy Shocks”, マクロ・金融ワークショップ, 一橋大学, 2017 年 1 月 24 日.

55. “Identifying Unconventional Monetary Policy Shocks”, 経済学部ファカルティセミナー, 甲南大学, 2017 年 2 月 24 日.

56. “低金利下における金融政策効果”, 応用マクロ・金融ワークショップ, 神戸大学, 2017 年 3 月 5 日.

57. 「銘柄固有の金融極性辞書の構築」（関和広と共同発表）, 第 18 回人工知能学会 金融情報学研究会（SIG-FIN）, FinGate, 2017 年 3 月 10 日.

58. “Identifying Unconventional Monetary Policy Shocks”, Western Economic Association International 92nd Annual Conference, Marriott Marquis & Marina, San Diego, California, June 27, 2017.

59. “Inflation Shocks, Expectations and Monetary Policy”, Brown bag seminar, Williams College, August 12, 2017.

60. 「近世日本の中央市場と気候変動」, 第 6 回 CODH セミナー『歴史ビッグデータ〜過去の記録の統合解析に向けた古文書データ化の挑戦〜』, 国立情報学研究所, 2018 年 3 月 12 日.

61. “Risk-Taking Channel of Unconventional Monetary Policies in Bank Lending”(joint with Kiyotaka Nakashima), 2018 Royal Economic Society Annual Conference, University of Sussex, March 27, 2018.

62. “Identifying Unconventional Monetary Policy Shocks”(joint with Kiyotaka Nakashima and Koji Takahashi), 2018 Asian Meeting of the Econometric Society, Sogang University, Seoul, June 22, 2018.

63. “Identifying Unconventional Monetary Policy Shocks”(joint with Kiyotaka Nakashima and Koji Takahashi), 2018 International Association for Applied Econometrics Conference, Université du Québec à Montréal, June 27, 2018.

64. 「金融政策の実証分析に関する最近の進展について」, 日本金融学会 2018 年度秋季大会, 名古屋市立大学, 2018 年 10 月 20 日.

65. “Learning by Implementing Macroeconomic Policy: Empirical Assessment using Data in Early Modern Japan”, Financial History Workshop, 早稲田大学, 2018 年 11 月 24 日.

66. “Identifying Quantitative and Qualitative Monetary Policy Shocks”(joint with Kiyotaka Nakashima and Koji Takahashi), 日本銀行金融研究所セミナー, 日本銀行金融研究所, 2019 年 2 月 18 日.

67. “Inflation Shock, Expectation, and Monetary Policy”(joint with Kenneth N. Kuttner), Monetary Economic Workshop, 関西学院大学, 2019 年 2 月 23 日.

68. “Identifying Quantitative and Qualitative Monetary Policy Shocks” (joint with Kiyotaka Nakashima, Koji Takahashi), 2019 CEBRA Annual Meeting, SIPA Columbia University, 2019 年 7 月 19 日.

69. “Identifying Quantitative and Qualitative Monetary Policy Shocks”, The Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organization, 大阪大学, 2020 年 1 月 10 日.

70. 「マイナス金利政策と銀行行動：論点整理」, 「マイナス金利環境の下での地域金融機関の経営の現状と課題」第 2 回研究会（オンライン）, アジア太平洋研究所, 2020 年 8 月 4 日.

71. “伝統的金利政策及びマイナス金利政策と銀行行動”, Monetary Economic Workshop, オンライン, 2020 年 12 月 19 日.

72. “COVID-19 Infection and Human Mobility” (joint work with Shoka Hayaki and Yoshitaka Ogisu),RIEB セミナー, 神戸大学（オンライン）, 2021 年 6 月 29 日.

73. “Inflation, Business Cycle, and Monetary Policy: The Role of Inflation Pressure ”,International Symposium on Monetary Policy, 科研基盤研究 (S)「包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：金融危機から国際関係・災害リスクまで」, 神戸大学金融研究会,RIEB セミナー, 神戸大学計算社会科学研究センター共催 (ハイブリッド開催), 2022 年 10 月 21 日.

74. “Inflation, Business Cycle, and Monetary Policy: The Role of Inflationary Pressure”, Monetary Economic Workshop, (online), 2023 年 4 月 15 日.

75. “Confidence Matters: Central Bank Economic Confidence and the Macroeconomy”, Joint CCSS-UvA Workshop on Computational Social Science and Intelligent Systems Amsterdam 2024, University of Amsterdam , March 7, 2024.

76. “Inflation, Business Cycle, and Monetary Policy: The Role of Inflationary Pressure ”, 日本金融学会 2024 年度春季大会, 埼玉大学, 2024 年 5 月 18 日.

77. 「現代日本の貨幣から」,　ワークショップ「貨幣再考：学際的アプローチ」, 神戸大学金融研究会 8 月例会, 神戸大学, 2025 年 3 月 15 日.

78. 「現代日本の貨幣から—レスポンス」,RIEB セミナー, 神戸大学, 2024 年 8 月 5 日.

79. 80 年史パネル：日本金融学会 80 年の歩み「学会員の研究課題からみた日本金融学会の活動の変遷 」(鎮目雅人と共同発表）, 日本金融学会 2024 年度秋季全国大会, 沖縄コンベンションセンター, 2024 年 10 月 12 日.

80. “Challenges in Computational Social Science Research in Japan”, The 2nd Joint CCSS-UvA Workshop on Computational Social Science and Intelligent Systems, Amsterdam 2025, University of Amsterdam , March 6, 2025.

81. 「マクロ金融政策の時系列分析: レビュー」, 神戸大学金融研究会 3 月例会, 日本金融学会中央銀行部会 RIEB セミナー共催, ザ・マーカススクエア神戸, 2025 年 3 月 15 日.

ディスカッサント

1. 日本経済学会 2024 年度秋季大会, 福岡大学, 2024 年 10 月 20 日.
2. 日本経済学会 2024 年度秋季大会, 福岡大学, 2024 年 10 月 19 日.
3. 第 9 回マクロコンファレンス, 慶応大学, 2007 年 12 月 1 日.

4. Modern Monetary Economics Summer Institute, 神戸大学, 2007 年 8 月 25 日.
5. 神戸大学金融研究会 (RIEB ワークショップ・神戸大学社会科学系教育研究府共催), 神戸大学, 2012 年 11 月 17 日.
6. 第 14 回マクロコンファレンス, ホテル阪急エキスポパーク, 2012 年 12 月 8 日.
7. 第 7 回地域金融コンファランス, 神戸大学, 2013 年 9 月 2 日.
8. 日本金融学会 2013 年度秋季大会, 名古屋大学, 2013 年 9 月 21 日.
9. The 2nd Hanyang-Kobe-Nanyang Conference in Economics, 神戸大学, 2014 年 5 月 10 日.
10. 第 11 回 Modern Monetary Economics Summer Institute（RIEB セミナー共催）, 神戸大学, 2014 年 9 月 4 日.
11. 日本経済学会 2014 年度秋季大会, 西南学院大学, 2014 年 10 月 11 日.
12. 日本金融学会 2014 年度秋季大会, 山口大学, 2014 年 10 月 18 日.
13. 日本経済学会 2015 年度春季大会, 新潟大学, 2015 年 5 月 24 日.
14. Western Economic Association International 90th Annual Conference, Hilton Hawaiian Village Waikiki, July 1, 2015.
15. 地域金融コンファランス, 関西外国語大学, 2015 年 8 月 25 日.
16. 日本金融学会 2015 年度秋季大会, 東北大学, 2015 年 10 月 24 日.
17. Western Economic Association International 92nd Annual Conference, Marriott Marquis & Marina, San Diego, California, June 28, 2017.
18. 日本金融学会 2019 年度春季大会，学習院大学，2019 年 5 月 26 日.
19. 日本経済学会 2019 年度春季大会，武蔵大学，2019 年 6 月 9 日.
20. 第１５回若手経済学者のためのマクロ経済学コンファレンス，(オンライン)，2021 年 2 月 17 日.
21. 日本金融学会 2021(令和 3) 年度中部部会第 2 回研究会，(オンライン)，2021 年 2 月 20 日.
22. 日本経済学会 2021 春季大会, 関西学院大学,（オンライン），2021 年 5 月 15 日.
23. 日本経済学会 2022 年度秋季大会, 慶応義塾大学,（オンライン），2022 年 10 月 15 日.
24. 日本経済学会 2023 年度秋季大会, 関西大学, 2023 年 9 月 17 日.

招待講演

- “気候変動と市場経済—江戸時代中後期を素材に—”，日本銀行金融研究所（オンライン），2022 年 2 月 15 日

その他

- 開会挨拶 “The 2nd Joint CCSS-UvA Workshop on Computational Social Science and Intelligent Systems”, University of Amsterdam, 2025 年 3 月 5 日.
- 学会座長「地域とネットワークのマクロ実証」日本経済学会 2024 年度秋季大会, 福岡大学, 2024 年 10 月 19 日.
- 学会座長　中央銀行パネル　「学界における日本銀行の金融政策に関する多角的レビュー」日本金融学会 2024 年度秋季全国大会, 沖縄コンベンションセンター, 2024 年 10 月 13 日.
- 学会座長　セッション: 経済史における計量分析, 日本経済学会 2014 年度春季大会, 同志社大学, 2014 年 6 月 14 日.
- 学会座長　セッション: 金融政策・貨幣マクロ II, 日本金融学会 2018 年度秋季大会, 名古屋私立大学, 2018 年 10 月 21 日.
- 司会　“Kick-off conference for the Center for Computational Social Science (CCSS)”, 神戸大学, 2018 年 10 月 26 日.
- 司会　パネルディスカッション: 創業・成長を金融面から支援するために, 神戸大学経済経営研究所創立 100 周年記念連続シンポジウム　「企業や地域の成長・活性化に貢献できる金融ビジネスに向けて」, ANA クラウンプラザホテル神戸, 2018 年 12 月 6 日.
- 司会 “CCSS International Workshop on Computational Social Science”, 神戸大学 (オンライン開催）, 2022 年 11 月 30 日.
- 講師　第 27 回神戸経済経営フォーラム 「中小企業経営の課題と展望〜ゼロゼロ融資の返済等の課題にどう向き合うか〜」, 神戸大学経済経営研究所／神戸商工会議所主催, 2023 年 2 月 8 日.

社会活動

所属学会

日本経済学会, 日本金融学会, American Economic Association, Western Economic Association International, Royal Economic Society, Econometric Society, International Association for Applied Econometrics.

その他

日本経済学会 2014 年度春期大会プログラム委員

財務省財務統合政策研究所　財務経済理論研修指導担当教官

日本経済学会 2019 年度秋期大会大会運営委員・プログラム委員

日本金融学会 2020 年度秋季大会プログラム委員・中央銀行パネルセッション副座長

日本金融学会 2021 年度春季大会プログラム委員

日本金融学会 2021 年度秋季大会プログラム委員・中央銀行パネルセッション副座長

日本金融学会 2022 年度秋季大会大会運営委員・プログラム委員・中央銀行パネルセッション副座長

アジア太平洋研究所 リサーチャー (2019 年度、2020 年度、2021 年度、2022 年度)

日本金融学会中央銀行部会幹事 (2019 年 4 月より)

日本金融学会理事 (2022 年 4 月より)

日本金融学会 2024 年度秋季大会プログラム委員